

お鋤山 植物たより (H26. 7. 16)

お鋤山は周囲を住宅団地等で開発され、10haに満たない森です。89.2mの四等三角点は豊田高校のグラウンド西にぼつねんと所在しています。そうした都市化の中の森ですが、静かです。先日も散歩をしていたらフジに絡みつかれたコナラの枯れ枝だったのでしょいか、ドスンと倒れる大きな音でびっくりしました。まさに「しじまを破って」の感がしました。時々たまホトトギスの鳴き声が聞こえ、音を体感する散歩の楽しみの一つを味わうこともできます。

南側、下流堰堤下にはヤハズソウやオオニシキソウのじゅうたん上にアクセントをつけるようにヒメジョオンが群生しています。先ごろまではこの地にハルジオン(H26.5.15掲載)が咲いていました。同じような花ですが、ヒメジョオンは花が小さく、ハルジオンの淡紅色にくらべ白色が多いようです。

その下流堰堤下の広場には、ニワウルシの大木が直立不動のように立っています。ウルシに似た葉の木で庭園にみかけるのでこの名前がついたようですが、かぶれることはありません。今は各所で自生しており、実もウルシと違い翼果で中央に1個の種子があるのが特徴です。雌雄異株、6本のうち、雌の木は1本。ところが西山橋西交差点の枝下用水側に自生の20本ほどは、その多くは雌の木です。雄、雌のせめぎ合いがあるのでしょうか。

この時期、開花している植物は少なくなりました。西山橋西交差点、お鋤山の市道沿いのキンシバイ(H26.6.15掲載)やコマツナギ(H25.7.8掲載)は1カ月以上経った今も咲いています。南の谷筋、上流の堰堤近くには淡紫色のジャノヒゲの花が咲いています。庭に植栽されているから見かけるとは思いますが、



ヒメジョオン



ニワウルシ



ジャノヒゲ



ヘビイチゴ

こうした森でみるのも風情があります。黄色のヘビイチゴの花も咲いています。実は赤く、その名前から毒性がありそうですが、食べれます。